



令和5年6月7日（水）NO. 4

☆生徒が作り上げた体育会！

2度の延期をして、6月5日（月）に3年生の体育会が行われました。保護者の皆様には、度重なる予定変更にも関わらず、たくさん観覧に来ていただき、ありがとうございました。

5月16日（火）6校時の選手決めから「響け友情 たぎれ思い 導け勝利の方程式」をスローガンに、第75回体育会の練習がスタートしました

5月18日（木）の5・6校時には、3年生初めての学年練習を行いました。体育委員長 高山さんの話を聞き、中学校最後の体育会に、全力で臨もうという気持ちが高まりました。

昨年度小笹先生から教わった、体育会を成功させるための合言葉「しあわせ（集合・挨拶・忘れ物なし・積極的に）」を、2年生の時よりもさらに意識して行動できるように再確認していきました。係の仕事も、昨年度よりも生徒主体で動けるよう、練習や打ち合わせを繰り返し、本番は生徒だけでも運営できるようにしました。

また、今年度は、全校で競技種目を統一するというので、50m走、100m走、アドベンチャーリレー、二人三脚リレー、スウェーデンリレー、学級対抗リレー（女子）、学級対抗リレー（男子）になりました。学年種目も全学年長縄に挑戦しました。

長縄を初めて学年練習でやったときは、縄を回す人も、跳ぶ人も要領が分からなくて上手くできませんでした。少し練習した後に、女子3分間、男子3分間で競争してみました。そのときの記録は、1位のクラスが40回、2位のクラスが35回、3位が29回でした。練習期間も短く、長縄の練習時間はさらに短い予定だったので、本番までに跳べるようになるのか、心配でした。しかし、練習を重ねるごとに最初は出ていなかった掛け声も、出るようになり、どんどん上達していきました。

5月24日（水）の道徳で「みんなでとんだ！」という話をみんなで考えました。長縄が苦手な級友を外して、予行演習で一位になった学級が、体育会の前日に、本当にそれでいいのかを真剣に話し合い、本番ではその子も入れて、全員で跳びました。結果は最下位でしたが、最高の思い出となる体育会となったという実話です。それぞれの学級で、練習をしていくうちに、上手いかわからないこともたくさん出てきますが、このお話の学級のように、しっかりと意見を出し合っていきたいという感想が寄せられました。



また、応援旗の作製も短い期間の中、頑張りました。修学旅行前に原画を決定し、下書きまで終わらせている学級もありました。応援旗は3回目ということで昨年度までの入賞作品のデザインを参考にして、各学級の持ち味を生かした旗に仕上がりました。体育会が終わっても、学級の団結のシンボルとして掲げていきたいです。

（各学級の応援旗は、裏面に印刷しています。）

その他にも、3年生らしい迫力あるシーンや、応援席で懸命に級友を応援する姿が見られ、心身共にこの2年間で成長したことを感じる事ができました。

体育会の結果は右記の通りです。入賞していなくても、先頭に立って学級を導いた体育委員、係役員として競技を支えた専門委員、今まで練習を頑張った3年生の生徒のみなさん、みんな輝いていました。学級で競い合う大きな行事も10月の合唱コンクールのみとなりました。今回作り上げた学級の絆を、その時まで深めていってほしいと思います。



体育会成績

- 総合順位
 - 1位…3組
 - 2位…4組
 - 3位…7組
- 学年種目(長縄)
 - 1位…1組4組
 - 2位…3組
 - 3位…7組
- 応援旗
 - 最優秀…6組
 - 優秀…8組
 - 優秀…9組

☆オープンスクールに参加しよう！

6月5日(月)から教育相談週間が始まっています。年に2回の教育相談週間に、3年生はどちらも担任の先生と行き、生活面全般の心配事だけでなく、進路に関することも含めた話をする時間をとります。3年生になって2か月経ちました。困っていることや気になることなど、細かいことでも担任の先生に伝えてほしいです。限られた時間を楽しく有意義に過ごす方法を一緒に考えていきます。そして、始業式に提出した第1回進路希望調査をもとに進路の話をするので、自分の進路目標について聞きたいことや悩んでいることなどを、しっかり担任の先生に伝え、今やるべきことをはっきりさせて、こつこつ取り組んでいきましょう。

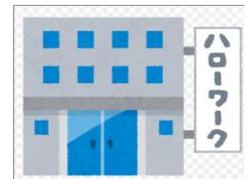


さて、**高校進学を考えている人**にとって、高校のオープンスクールに参加することはとても重要です。オープンスクールは、進路選択をするために必要な「情報を集める場」だからです。情報を集める方法はいろいろありますが、インターネットを見ることやパンフレットを読むことより、実際に自分の目で見て、体験できるオープンスクールは、より確実な情報を得ることができるという意味で大切といえます。つまり、「**百聞は一見にしかず**」ということです。

オープンスクールは、自分の『興味』や『適性』を考えた上で、「自分の夢を実現するために必要である」と考えられる高等学校を自分で選び、自分で確かめるチャンスと考えてください。ただし、自分で選ぶことは、『自分で責任をもつ』ということにもつながります。そのため、一人一人が**自分の進路は自分で切り開く**という自覚をもち、オープンスクールにも積極的に参加してほしいと思います。「最低でも公立・私立それぞれ2校ずつは行って、比べてみる」くらいの姿勢が必要です。オープンスクールへの参加の仕方については、6月1日(木)に配布した進路だよりや、オープンスクール予定一覧をよく読んでください。

また、**就職を考えている人**は、高校受験より動きが早くなります。職業安定所(ハローワーク)で職場を紹介してもらう場合は、9月ごろから「職業相談」を受けることになります。したがって、それまでに自分が進むべき方向についてしっかり考えたり、家庭で話し合ったりする必要があります。

一方、【縁故就職】といって、職業安定所に紹介してもらわず、自分が知っているところに直接就職する場合がありますが、この場合でも、職業安定所を通して採用の待遇や条件について明らかにしてもらっておいた方が、後のトラブルを予防することになります。就職を考えている人は、できるだけ早く担任の先生に相談してください。



☆備南東地区大会に向けて

6月17日(土)～28日(土)にかけて備南東地区大会が行われます。運動部の生徒にとっては県総体への出場がかかっている大きな節目の大会です。今回は3年生が主力となって試合に臨みます。今回の結果で部活動を引退する人もいることでしょう。この日のために積み重ねてきた努力を存分に発揮してきてほしいと思います。



3-1



3-2



3-3



3-4



3-5



3-6



3-7



3-8



3-9



3-10